



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年2月1日

上場会社名 佐藤食品工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2814 URL http://www.sato-foods.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 佐藤 仁一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 上田 正博 (TEL) 0568-77-7316  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	5,089	0.6	826	△8.7	898	△7.9	516	△25.6
30年3月期第3四半期	5,058	8.8	905	8.7	976	10.2	694	13.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
31年3月期第3四半期	82.74		82.21					
30年3月期第3四半期	111.24		110.63					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	17,913	15,867	88.4
30年3月期	17,885	15,557	86.8

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 15,834百万円 30年3月期 15,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
31年3月期	—	15.00	—		
31年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	5.4	1,140	△2.2	1,213	△2.8	859	△10.0	137.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年3月期3Q	9,326,460株	30年3月期	9,326,460株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

31年3月期3Q	3,079,942株	30年3月期	3,079,944株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年3月期3Q	6,246,513株	30年3月期3Q	6,246,561株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6
3. その他	7
生産、受注及び販売の状況	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策の継続を背景に企業収益の改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続きましたが、米中の保護主義的な通商政策に基づく貿易摩擦や自然災害の増加などにより、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社の当第3四半期累計期間における売上実績は、茶エキスにつきましては、紅茶エキス・ほうじ茶エキス・麦茶エキス等が増加したものの、緑茶エキス等が減少したため、売上高は2,535百万円(対前年同四半期比5.3%減)となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末椎茸・粉末昆布等が減少したものの、粉末鰹節・粉末魚介等が増加したため、売上高は1,359百万円(同4.2%増)となりました。

液体天然調味料につきましては、鰹節エキス・昆布エキス等が増加したため、売上高は555百万円(同2.4%増)となりました。

植物エキスにつきましては、果実エキス等が増加したため、売上高は531百万円(同23.2%増)となりました。

粉末酒につきましては、清酒タイプ・ブランドタイプ等が減少したものの、ラムタイプ・梅酒タイプ等が増加したため、売上高は101百万円(同4.9%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,089百万円(同0.6%増)となり、前年同四半期に比べ30百万円増加しました。

損益面につきましては、売上原価の増加により営業利益は826百万円(同8.7%減)、経常利益は898百万円(同7.9%減)となりました。また、投資有価証券評価損143百万円を計上したため、四半期純利益は516百万円(同25.6%減)となりました。

なお、当社は食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は17,913百万円となり、前事業年度末に比べ28百万円増加しました。

流動資産については9,648百万円となり、前事業年度末に比べ308百万円増加しました。主に、たな卸資産が142百万円、売上債権が123百万円、それぞれ増加したことによります。

固定資産については8,264百万円となり、前事業年度末に比べ280百万円減少しました。主に、投資有価証券が218百万円減少したことによります。

負債合計は2,045百万円となり、前事業年度末に比べ281百万円減少しました。

流動負債については1,855百万円となり、前事業年度末に比べ259百万円減少しました。主に、未払法人税等が224百万円減少したことによります。

固定負債については190百万円となり、前事業年度末に比べ22百万円減少しました。主に、繰延税金負債が22百万円減少したことによります。

純資産合計は15,867百万円となり、前事業年度末に比べ309百万円増加しました。主に、配当金の支出により187百万円、その他有価証券評価差額金が27百万円、それぞれ減少したものの、四半期純利益516百万円を計上したことによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました平成31年3月期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,321,583	6,361,288
受取手形及び売掛金	1,538,215	1,661,967
製品	678,687	724,216
仕掛品	380,004	447,115
原材料及び貯蔵品	387,599	417,654
その他	34,294	36,344
貸倒引当金	△154	—
流動資産合計	9,340,231	9,648,587
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,765,476	1,716,316
機械及び装置(純額)	1,229,046	1,104,128
土地	2,468,073	2,558,304
建設仮勘定	8,492	18,557
その他(純額)	106,429	109,099
有形固定資産合計	5,577,518	5,506,406
無形固定資産	18,352	14,771
投資その他の資産		
投資有価証券	2,726,689	2,508,142
破産更生債権等	1,443,567	1,442,482
その他	222,500	235,415
貸倒引当金	△1,443,567	△1,442,482
投資その他の資産合計	2,949,190	2,743,557
固定資産合計	8,545,061	8,264,736
資産合計	17,885,293	17,913,323

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	621,479	599,671
短期借入金	750,000	720,000
未払金	139,611	140,955
未払法人税等	281,518	56,912
賞与引当金	120,000	60,603
設備関係支払手形	1,432	1,077
その他	201,100	276,456
流動負債合計	2,115,143	1,855,676
固定負債		
役員退職慰労引当金	24,340	24,340
繰延税金負債	132,382	110,260
資産除去債務	55,576	55,630
固定負債合計	212,298	190,231
負債合計	2,327,441	2,045,908
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,672,275	3,672,275
資本剰余金	4,444,793	4,444,803
利益剰余金	10,424,770	10,754,202
自己株式	△3,429,384	△3,429,394
株主資本合計	15,112,454	15,441,886
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	420,212	392,435
評価・換算差額等合計	420,212	392,435
新株予約権	25,184	33,093
純資産合計	15,557,851	15,867,415
負債純資産合計	17,885,293	17,913,323

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	5,058,686	5,089,002
売上原価	3,513,051	3,587,791
売上総利益	1,545,634	1,501,210
販売費及び一般管理費	640,078	674,727
営業利益	905,556	826,483
営業外収益		
受取利息	891	882
受取配当金	58,206	58,560
貸倒引当金戻入額	2,300	1,238
その他	13,027	15,056
営業外収益合計	74,426	75,739
営業外費用		
支払利息	3,596	2,943
その他	25	295
営業外費用合計	3,622	3,239
経常利益	976,360	898,982
特別利益		
受取損害賠償金	2,647	—
投資有価証券売却益	36,149	1,372
受取保険金	—	15,762
特別利益合計	38,796	17,134
特別損失		
固定資産除却損	2,968	1,734
投資有価証券評価損	—	143,273
その他	—	1,327
特別損失合計	2,968	146,335
税引前四半期純利益	1,012,188	769,781
法人税等	317,320	252,954
四半期純利益	694,868	516,827

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、食品加工事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。



## 3. その他

## 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	2,600,062	△4.5
粉末天然調味料	1,337,417	5.0
液体天然調味料	565,029	4.5
植物エキス	591,636	34.9
粉末酒	101,337	3.2
合計	5,195,483	2.4

(注)1. 金額は、販売価格によっております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

## ③販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	2,535,298	△5.3
粉末天然調味料	1,359,970	4.2
液体天然調味料	555,031	2.4
植物エキス	531,520	23.2
粉末酒	101,876	4.9
その他	5,304	△1.2
合計	5,089,002	0.6

(注)1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
(株)伊藤園	963,538	19.0	840,086	16.5
MCフード スペシャリティーズ(株)	571,314	11.3	526,554	10.3